

飼料不足を解消するための頭の切替

飼料不足の原因とその対策

飼料についての頭の切替えが大切

畜産農業は、近年、世界の糧食供給に大きな影響を及ぼすようになっており、その発展には、良質な飼料の供給が不可欠である。しかし、一方で、飼料資源の過剰化や、飼料の高騰による生産コストの上昇など、さまざまな問題が発生している。また、飼料の品質管理や、飼育方法の改善など、生産効率の向上も重要な課題である。

ン、青刈大豆、晚秋櫻付の残菜の日乾したものは麩と同じ栄養分を含み蛋白質一五%以上もあり、糞に較べて四倍以上もある譯で、立派な麩の代用品です。

「金を出しても思うとう買えない貴重な麩の僕はまだ、山野の

諸類を。
我が國の氣候、收量
等から考えて澱粉質飼
料の自給には甘藷や馬
鈴薯が最も有望で、屑
諸に三割の米糠を混ぜ
濃厚飼料の給源には
く準備しましよう。

和牛布

と飼うには(一)

外國人の登録證明が
期間内に忘れないで手續を
切替えられます

和牛を飼うには(一)

外國人の登録證明 切替えられます

力

山縣協菓子卸商業
同子組合業

山縣製糖株式會社
和歌山市友田町
總販賣代理店
菓子卸商業
協同組合
山縣菓子工業
協同組合

明治	明治	和歌
明治	明治	和歌

山縣製糖株式會社
和歌山市友田町
總販賣代理店
菓子卸商業
協同組合
山縣菓子工業
協同組合

衛生に注意して新年を迎えましょう

フジシロ
中野醸造工場
白焼酎

東田製乳株式會社
工場 和歌山市太田
工場 日高郡御坊町

和歌山乾物食料品株式會社

和歌山縣青果物商業組合

和歌山青果市場株式會社

明治製糖株式會社

和歌山縣農業組合

大陽紙業セメント縣下特約店
上山商店

たように。他の部はよく知らないが洋畫の同好會や研究團体は縣下の各郡市に必ず一つはあつてそれぞれの立場十一月十日より二十七日迄縣立圖書館にて開催せられた縣美術展！俗に縣展といわれるが一は第一部洋畫、第二部日本畫寫眞、第三部書道、工藝の三部に分けられ搬入總數七〇〇点に達せんという感大さで、連日多勢の入りを見せ、縣教委では述五千人と概算している。編集部では青甲會の木下先生に縣展の感想をお願いした所幸い別記の原稿を寄せられたのでお載せした次第である。

で活動している現状である。これらの連合體による縣展を組織することはより民主的縣展となり縣下全般に徹底するのではないかと思ふ。縣展は作家側だけが騒ぎ立てるが一般大衆に縁ない存在だと非

書人すら縣展を知つかつた人が多かつたのである。昭和十四年頃の縣展にはこの程度の美術の人達の出品もわかつた事を思うと、か寂しい氣がすこしある。七万圓の豫算を持つたが結果から

高城氏が一漫然と縣が主催すると言うのでなく、縣下美術家協會を作つた上で縣と合体の縣展を作つてはどうか」と云われたが私はこの意見を尤もだと思つた。文展が在野團体の連合体に



今後の縣民

県展の普及渗透が大切

書道も参加して県展と
しての外容も立派に出来上つた事だし、一應過去を振り返つて今後の方針を検討してみたいと思う。

縣志

縣展におも

難の聲も聞えるが、今もあつてよいと思う。後縣展運營に一考を要する大切な問題と思う。唯繪畫の大衆性と云うことになると問題は非常に大きく我々の間で常に論議される問題である。誰にでも解る繪、解りにくい繪、どちらにしても日本の美術を太らせてゆくのではなかろうか。それにも現代繪畫の性格としてより純粹に繪畫的になつてゆくのは當然のことである。

縣展の普及滲透が大切

手は？
ないよう二
五年一月
昭和二十
一日より
は法律第
九十六號
年令のと
なえ方に

卷之三十一

若い人に多い
搬入作品の多かつたことはいさゝか實に、が引けたが地理的に日本と實質會の地元であり若い者たちの興味ある者が勢い集まつて、洋書の一般の關心が深まつてゐる表われで、洋書を六百点にも飛躍してゐる。

満年齢早見年月表 (其の二)

年齢												
一月生	二月生	三月生	四月生	五月生	六月生	七月生	八月生	九月生	十月生	十一月生	十二月生	昭和二十年
一年	二年	三年	四年	五年	六年	七年	八年	九年	十年	十一年	十二年	昭和二十年
1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
1.7	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
1.8	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
1.9	1.8	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1
1.10	1.9	1.8	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1	1.1
1.11	1.10	1.9	1.8	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.1

度は再検討される
—と思ふ。
秀作品
數の多いことはそ
くばしい傾向であ
唯これを如何に運
るかによつて縣展
の發展があると思
優秀作品も比較的
人達に多く頼母し
りであつた。各部
選賞など、誰も成
うなづけし落付
に落付いたと考え
る。特選作の内桐
の木下陸君の作を
が買上げて下さる
で尙年々優秀作の
買上げがあるそうち
大いに斯道の獎勵に
ることであり敬意を
しげ度い。出来る事な
入選發表、せめて受
者の方だけでも新聞
上に華々しく掲載し
活氣を與えてほしい
のである。
　縣展の南紀開催も
回問題になつてゐる
遙々縣展を見に來る
は極く一部の限られ
人だけだと思う。實
し度いものだ。豫算
問題が解決しなけれ
不可能だが、假りに
宮市で開催するとい
市との豫算で協力して
えば實現するのでは
かるうか。

若い人に多い優秀作品



ない、我々總ての人の生活の中に在り度い、そこに初めて文化國家が建設されるのでにはなかろうか。我々の希望する縣展を斯うした雰圍氣の中に育つてゆくことを信頼する。(筆者は桐蔭高校教官)

和歌山縣履物小賣商組合
和歌山縣履物商組合連合會
加入の登録店

卷之三

和歌山市漢通り丁南一工
電話 七〇六・八〇九五

和歌山縣無盡協會
興紀無盡株式會社

和歌山縣農產工業協同組合
和歌山縣製飴工場條例政次
理事長 脇條
和歌山市三木町南一
電話二八九（呼出）
和歌山縣故藁工品商業組合
和歌山縣故藁工品商業組合
理事長 寺井逸郎